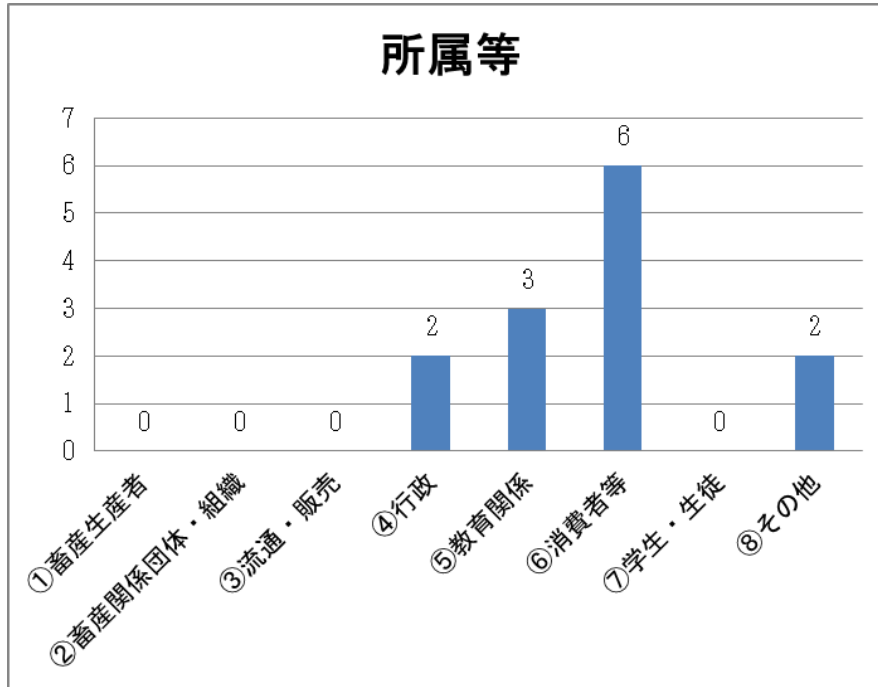


DVD「みんなで考えよう！大切な命と食べ物」アンケート集計結果

(社)三重県畜産協会

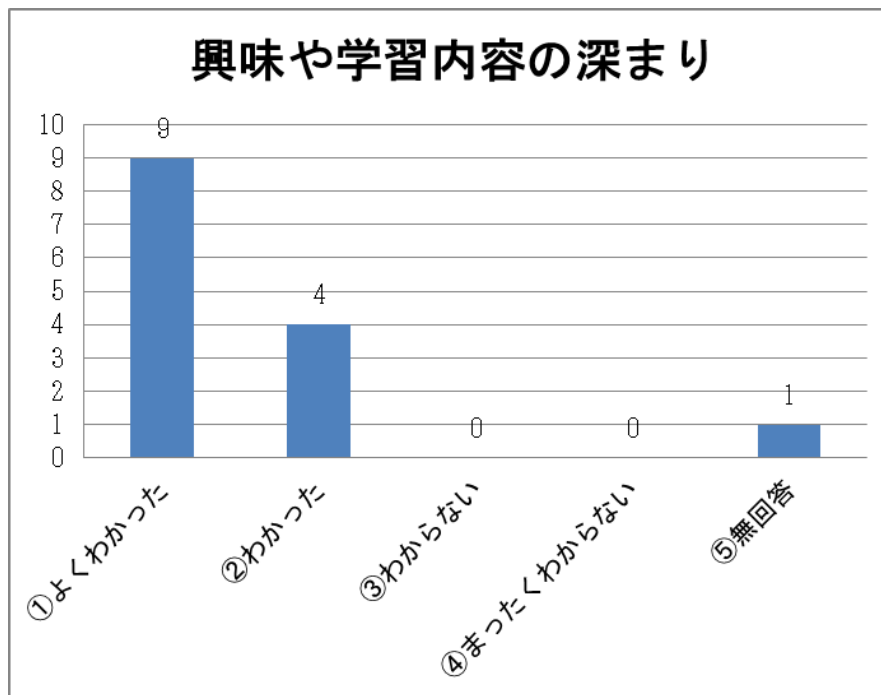
H24. 6. 12 回答総数 14名

Q1 あなたの所属等をお教えてください。

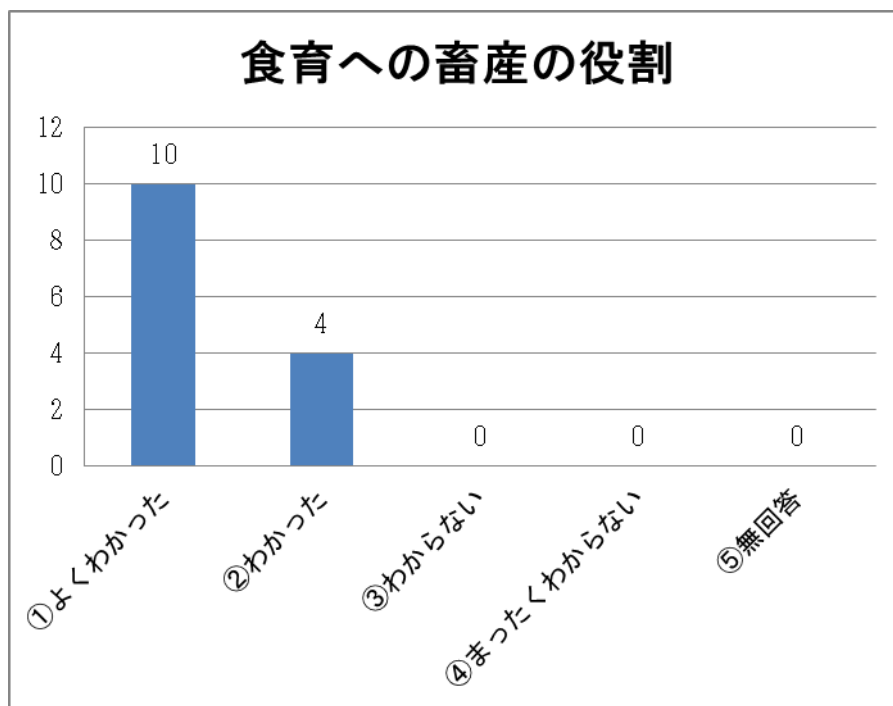


その他・・・門司中央小学校成人教育委員会

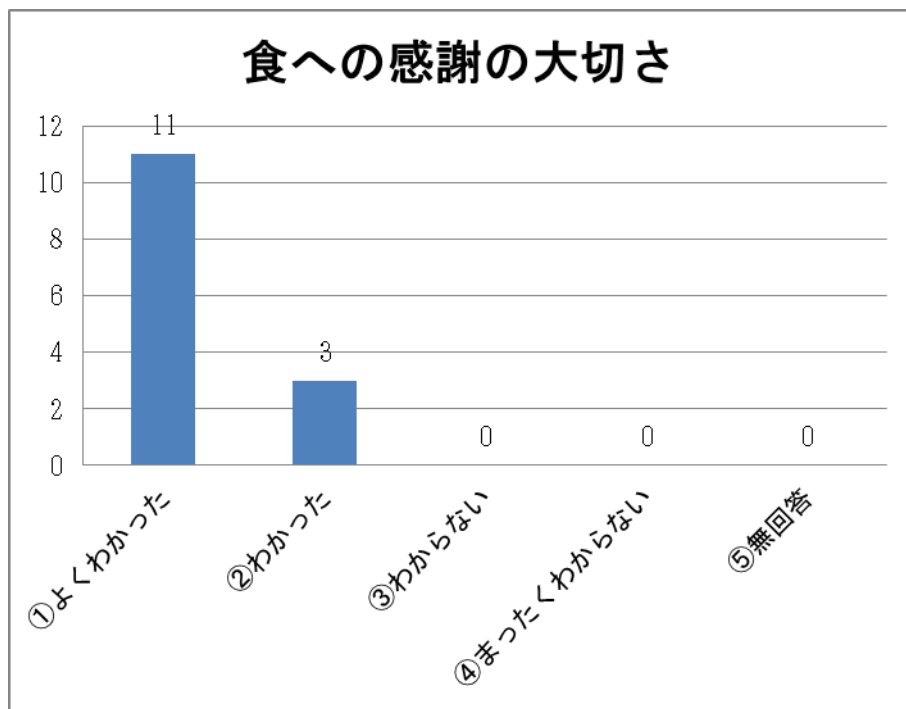
Q2 学習するにしたい、興味や学習内容が深まってくるようすがわかりましたか。



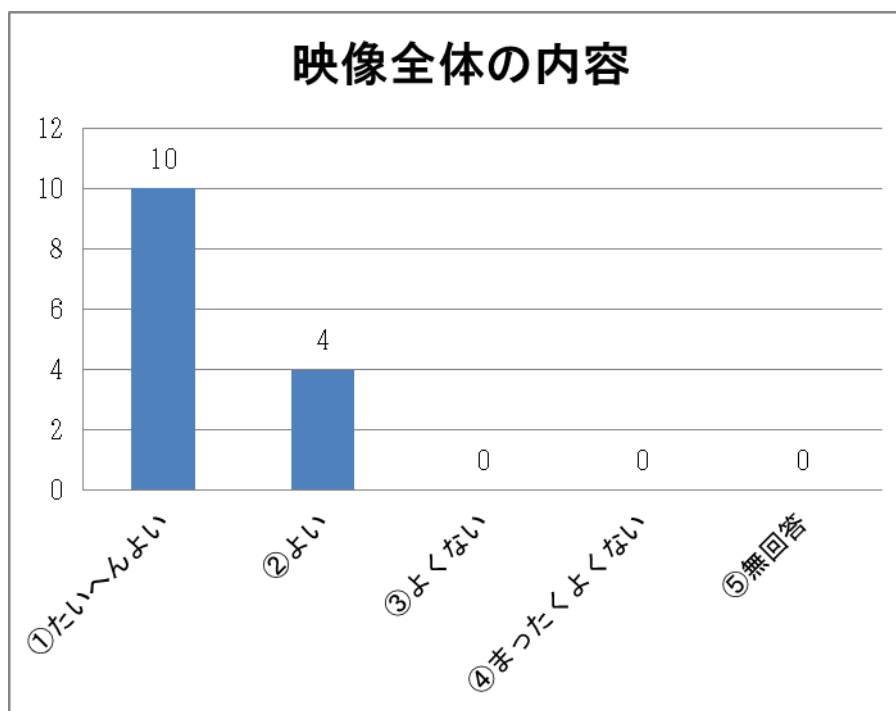
Q3 畜産が食育学習に重要な役割であることがわかりましたか。



Q4 食に感謝することの大切さがわかりましたか。



Q5 映像全体の内容についての感想



Q6 このビデオの内容や食生活、農業・畜産への提言、その他ご意見をご自由にお書きください。

- 低学年ではなく、6年生が体験することの大切さ、必要性を感じました。いろんなことを考え、悩む年頃だからこそいろんな意見も考えもあり自分なりに受け止められる時期ではと思いました。
- 「命」をいただくということを再認識させられました。「育てて殺して食べる」当たり前のことだけれども、日々の生活の中では「食べる」ことしか見えてなくて感謝の気持ちが薄れていく。「残す、捨てる」ではあまりにも失われた命が悲しんでいることでしょう。子供にも教えてあげたいと思いました。
- 今日は家庭教育学級でこのDVDを見ましたが、私（大人）だけでなく、子供と一緒に見て、食べることの意味、食べられることの幸せを学びたいと思いました。「いただきます」の意味を改めて深く感じました。
- 今まで何も考えずに（当たり前すぎて忘れていた）スーパーに並ぶお肉を普通に買って、口にしていました。今回、このDVDを見て、「いただきます」命をいただくという事、とても印象に残っているし、この勉強をした子供たちをうらやましく思いました。
- 自然の命をいただくという気持ちは、日ごろから子供に伝えているが、ビデオのような実際に目で見て心に刻まれるようなことが日常ではないので、「松阪牛」ならぬ「小倉牛」でビデオのような授業をしてほしいと思った。しかし・・・ビデオの中の小学校の数名の女の子が目を伏せる場面があり、それを見たときは「どうなのかな～」「われらはどう受け止めるのかな～」等々、不安になる思いもあった。総体的にはよいDVDであっ

たし、内容も充実していたと思う。

- 学校でもぜひ見せたい DVD でした。実践できないだけにぜひしたいです。「いただきます」という言葉の意味の重さを感じずにいれない DVD です。人間も動物、他の動物の命、植物、いろんなものを食べないと生きていけない動物であることを理解するのにいい教材です。
- 牛を育てるという事、牛は暖かくて育てている方々は子供のように愛情をこめて育てているという事。子供たちが見て、ふれて学んだことは食べ物を粗末にはしてはいけないという事はもちろん、「命」についても深く考えるきっかけになったのではないかと思います。日ごろ、このようなことを改めて考えることはありませんが、毎日の食事の中で、子供たちに伝えていかなければいけないと思います。スーパーでパック詰めで並んでいるのが肉、それしか知らない子供たちが増えていると思いますが、すべての元は生きていて、命があり、様々な人たちの手を経て今、食事ができているのだということを、子供たちに伝えていきたいです。
- 人間は一人では生きていけない。誰かに、物に助けられていることがよくわかった。子供に体験させてみたい。実際にどういう工程を経て、食卓に並ぶのか知らない子供が多いかも。スーパーに行けば何でも買える時代。肉にしても魚にしても野菜にしても生産者がどれだけの愛情を持って育て出荷していくのがわからない人がいる。ビデオを見て私自身も感謝の気持ちを忘れていたことに気が付いた。
- 小さなころから言ってきた「いただきます」の言葉が今日この DVD ですごく大切な言葉だと実感しました。
- この地域の（北九州）では、なかなかこのような体験・学習を学ぶことはできませんが、物を加工されてできる工程でも、食の学習、学ぶことができると感じました。とても良い学習を学べました。
- 自分が生きるために他の動物の命をなくして、それを食べていること、野菜や魚にしても同じことが言えると思う。感謝の気持ちを待ち、食事をしなければと感じた。
- 人は生きるために食べる。愛情をこめて育てたものでも生きるために食べる。可哀そうだと思ってもその死を悲しんだら生きられない。と殺するところは怖かったかもしれないが、それで新しい命がはぐくまれると知ることができたと思う。素晴らしい食育だと思う。この DVD はもっと多くの子供たち、大人たちに見せる機会が必要だと考えます。
- 何より「いただきます」この 6 文字の言葉の大事さがすごくわかりました。まず、自分が改め、少しでもたくさん子供たちに食育の大切さを。
- 子供が二人いますが、しつけの一環として「いただきます」「ごちそうさま」をいうことを教えていただけで、他の動物の命をいただいているという事を改めて考えさせられ、子供たちにもそれを伝え、自分自身、食事をするとき「命をいただきます」という気持ちで食事しようと思いました。大変勉強になりました。